

事務事業評価シート

(H.28)No.	1033	(H.27)No.	1033
-----------	------	-----------	------

事務事業名	戦没者追悼式経費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	生活支援室	山本明志	

会計区分	事業コード	123001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	民生費	戦没者等援護事業
項	社会福祉費	(小事業名)
目	社会福祉総務費	戦没者追悼式経費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	1	人を大切にする社会の創造
	施策	1	人権尊重
	小施策	5	平和教育の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	戦没者等及びその遺族に対する市としての弔慰
事業内容	<p>明治以降の市内出身の戦没者等に哀悼の意を表し、その冥福を祈るため、戦没者等の遺族を招き追悼式を挙行</p> <p>日時 10月12日(水)10時予定 場所 アドバンスコープADSホール(青少年センター) 内容 戦没者等遺族 約700人 来賓 80人による献花</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	平成27年10月28日 挙行 参加者約700人 《経費》 委託料 (交通警備)15,000円 使用料及び賃借料 (祭壇一式)399,000円 (会場使用料)63,070円 報償費 (供物)111,132円 (司会報償)30,000円 (要約筆記)35,000円 【特別弔慰金】0円	予定 平成28年10月12日 参加者約700人 《経費》 委託料 (交通警備) 25,000円 使用料及び賃借料 (祭壇一式) 432,000円 (会場使用料) 70,000円 報償費 (供物) 152,000円 (司会報償) 30,000円 (要約筆記) 50,000円 【特別弔慰金】 20,000円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
同左	同左 ※特別弔慰金は除く	同左

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	653千円	779千円	779千円	760千円	760千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 653	779	779	760	760
人工数					
職員	0.27人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 2,052千円	3,040千円	3,040千円	3,040千円	3,040千円
①+②総事業費	(0千円) 2,705千円	3,819千円	3,819千円	3,800千円	3,800千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
※「考察」及び「今後の対応方針」の記載対象外の事務事業	

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	戦没者等及びその遺族に対する市としての弔慰
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
戦死した英霊の御霊に対し市としての弔慰を表す場として継続が必要	